

# 宝塚市の財務書類を みてみよう

平成27(2015)年度

市の財産や借金などの全体像を把握するために、民間企業の会計手法を取り入れた貸借対照表（バランスシート）などの財務書類を作成しました。このリーフレットを通じて、市民の皆さんに、市の財産や行政サービスにかかるコストなどの状況をわかりやすくお伝えします。

## 平成27(2015)年度の取り組みについて

第5次総合計画の基本目標の実現に向けて、施策推進のための事業を行いました。具体的な主な事業は下記の通りです。

### これからの都市経営



まち・ひと・しごと  
創生総合戦略策定事業

639万円

### 安全・都市基盤



非常備消防事業

153万円

### 健康・福祉



第2次たからづか  
食育推進計画策定事業

274万円

### 教育・子ども・人権



学校施設の耐震化

7億6,329万円

### 環境



都市美化推進事業

708万円

### 観光・文化・産業



地域消費喚起・  
生活支援型交付金を  
活用した事業

2億926万円

# 貸借対照表

平成28(2016)年3月31日現在

## 普通会計ベースの貸借対照表 ※1

貸借対照表とは、市が保有している資産と、その資産形成に要した負債や財源との関係を示したものです。

✓ 市民1人当たりでは、資産が **162万円** 負債が **39万円**

### 資金の使い道

<b>公共資産</b>	道路、公園、 学校、庁舎など	<b>3,538億円</b>
<b>投資等</b>	出資金、貸付金、 基金など	<b>165億円</b>
<b>流動資産</b>	現預金、 未収金など	<b>75億円</b>
<b>資産合計</b>		<b>3,778億円</b>

### 資金の調達

<b>負債</b>	将来世代の負担で返済して いく債務	<b>906億円</b>
	地方債など 退職金の支払予定額 その他	737億円 102億円 67億円
<b>純資産</b>	これまでの世代がすでに負 担して支払いが済んでいる 正味の資産（資産から負債 を引いた額）	<b>2,872億円</b>
<b>負債及び純資産合計</b>		<b>3,778億円</b>

## 連結貸借対照表 ※2

連結貸借対照表とは、市の各会計、一部事務組合、第三セクターなどをひとつの「行政サービス実施体」とみなして、市の財政状態の全体像を示したものです。

✓ 市民1人当たりでは、資産が **222万円** 負債が **62万円**

### 資金の使い道

<b>公共資産</b>	道路、公園、 学校、庁舎など	<b>4,850億円</b>
<b>投資等</b>	出資金、貸付金、 基金など	<b>169億円</b>
<b>流動資産</b>	現預金、 未収金など	<b>169億円</b>
<b>資産合計</b>		<b>5,188億円</b>

### 資金の調達

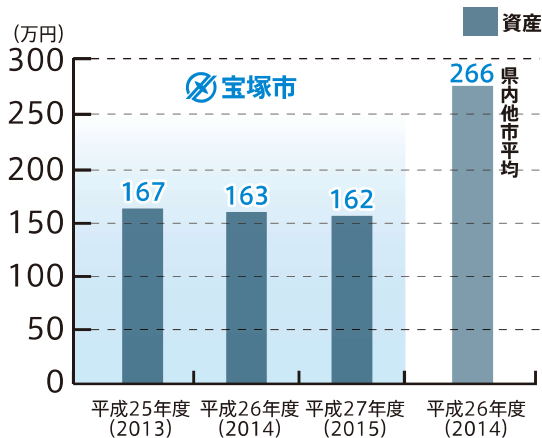
<b>負債</b>	将来世代の負担で返済して いく債務	<b>1,458億円</b>
	地方債など 退職金の支払予定額 その他	1,264億円 124億円 70億円
<b>純資産</b>	これまでの世代がすでに負 担して支払いが済んでいる 正味の資産（資産から負債 を引いた額）	<b>3,730億円</b>
<b>負債及び純資産合計</b>		<b>5,188億円</b>

【用語解説】 ※1 普通会計ベースの貸借対照表 / 一般会計+特別会計のうち宝塚すみれ墓苑事業費

※2 連結貸借対照表 / 普通会計ベース+特別会計+企業会計(水道・下水・病院)+公社+第三セクター+一部事務組合

# 指標でみてみよう (普通会計ベース)

## 市民1人当たり資産



Q1 将来世代に残る市の財産はどのくらいですか？

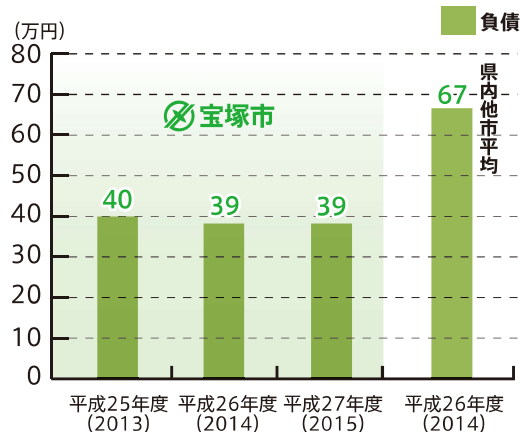
市民1人当たり

162万円



A1 減価償却が進んだことなどから、市民1人当たりの資産は昨年より1万円減の162万円です。

## 市民1人当たり負債



Q2 将来世代に残る市の負債(借金等)はどのくらいですか？

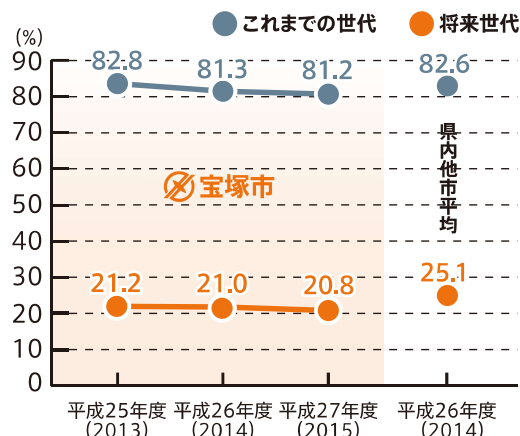
市民1人当たり

39万円



A2 借金残高の減少などから、市民1人当たりの負債は昨年と同額の39万円です。

## 世代間負担比率



Q3 将来世代と現世代の負担のバランスはどうなっていますか？

将来世代負担比率

20.8%



A3 県内他市平均の将来世代負担比率は約25%であるのに対し、宝塚市は約21%であり、将来世代の負担は比較的小さくなっています。

【注1】 県内他市平均の数値は、兵庫県内の平成26(2014)年度の普通会計ベースの財務書類の数値が公表されている24市を対象としています。

【注2】 市民1人当たりの金額は各年度3月末の住民基本台帳人口を基に算定しています。(下図参照)

【注3】 世代間負担比率は社会資本整備に要したこれまでの世代の負担の割合又は将来の世代に委ねられる負担の割合を示しています。下記の算式で算定しています。

$$\begin{aligned} \text{これまでの世代の負担比率(\%)} &= \text{純資産} \div \text{公共資産合計} \times 100 \\ \text{将来世代負担比率(\%)} &= \text{地方債残高} \div \text{公共資産合計} \times 100 \end{aligned}$$

### 宝塚市 住民基本台帳人口(3月末)

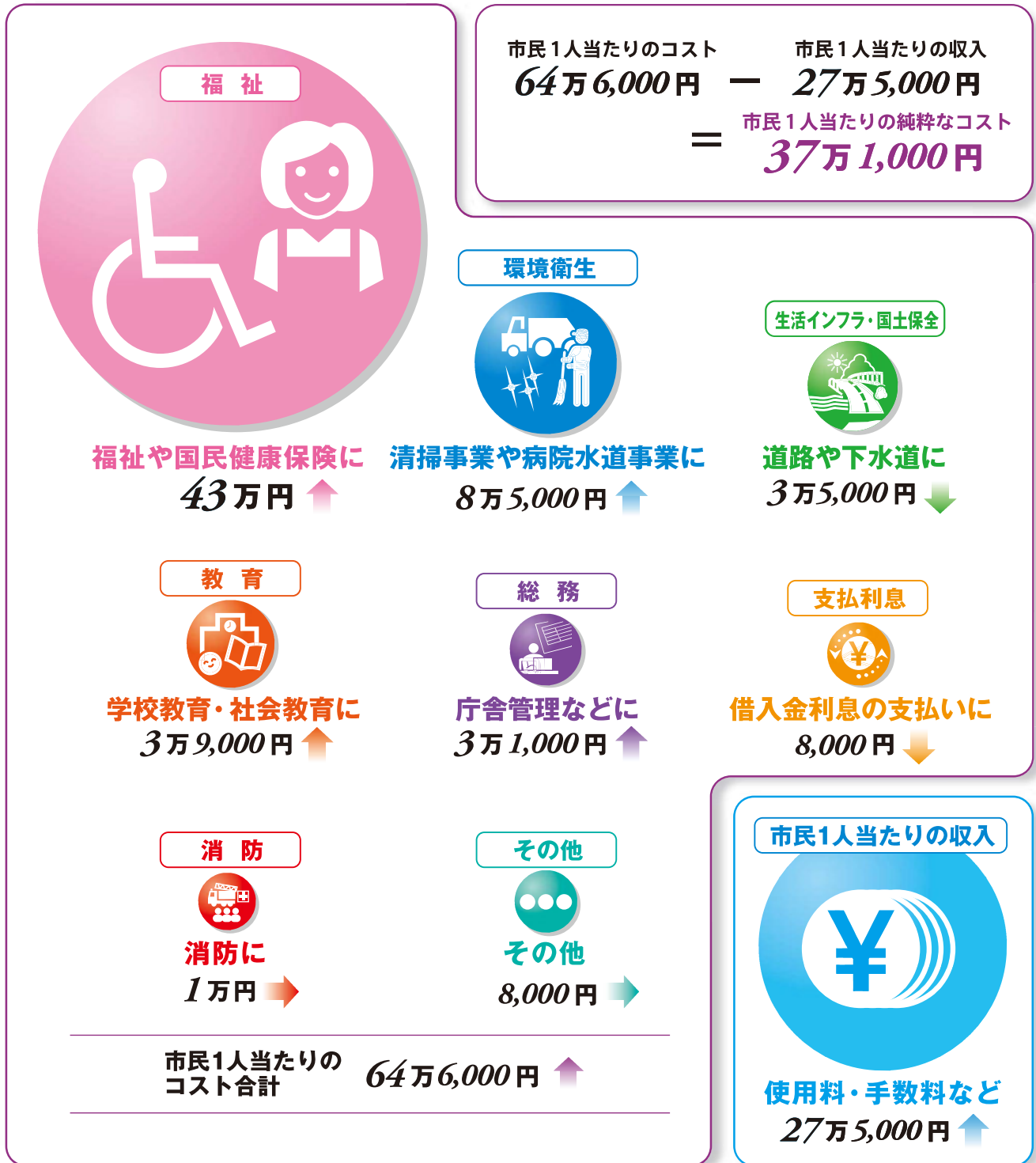
### 県内他市平均

平成25(2013)年度	平成26(2014)年度	平成27(2015)年度	平成26(2014)年度
233,842人	233,776人	233,877人	182,895人

# 市民1人当たり連結行政コスト

平成27(2015)年4月1日～平成28(2016)年3月31日

資産形成につながらない福祉や教育などの行政サービスに必要なコスト(費用)は867億円です。これを市民1人当たりになると37万1,000円です。



もっと知りたい方はこちらインターネットHP

宝塚市の財政状況

検索

連絡先 宝塚市 企画経営部行財政改革室財政課  
〒665-8665 兵庫県宝塚市東洋町1番1号

Tel 0797-77-2022 (直通) Fax 0797-72-1419

http://www.city.takarazuka.hyogo.jp/